

## 気泡《自由の女神》[0515\_5555]

ラムダプリント・43.5×65.2cm・2009年

齋藤ちさと

---

### 作品解説

「気泡」シリーズは、風景や花をモチーフとした写真作品。カメラの前に炭酸水を入れた小さな水槽を配置してシャッターを押すことで、気泡が画面内に浮遊するような幻想的な世界が生まれている。それぞれの気泡には周囲の風景が映り込み、いくつもの風景が1つの画面に収められたオリジナルな風景写真と言えるだろう。ピントの合わせ方によって空間の見え方が大きく変わるほか、自然光の強さ、炭酸の出かたなど、偶然の要素も大きいいため撮影は無数に行う。その中から絵画的強度をもったものだけが作品となる。

読書体験によって得た「世界は点の集積でできている」という原理は、作家が追いつけているテーマであり、「つぶつぶ」をキーワードに制作をしてきた。さらに「気泡」シリーズでは、様々に色を変える泡の姿を、周囲の環境によって人格形成されていく人の姿と重ねている。“人”と、“人を取り巻く環境”との関係を表現することに主眼が置かれている。